

新社長に聞く

The First President
1988-1990

川岸工業は昨年12月21日付で、清時康夫社長が就任した。需要低迷やコスト上昇、2024年問題など厳しい事業環境が続く状況下、清時社長に足元の認識と今後の見通し、戦略などについて聞いた。



川岸工業 清時 康夫氏

▽清時康夫(きよとき やすお)氏=1979年丸紅入社、2011年川岸工業社外取締役、18年伊藤忠丸紅住商テクノスチール取締役兼副社長執行役員建築・鉄構部門長、20年4月伊藤忠丸紅住商テクノスチール顧問、10月ヤマックス顧問、22年4月川岸工業顧問、12月常務取締役東京支店長。23年12月から現職。好きな言葉は「為さざる罪を知る」。週末はウオーキングをたしなむ。56年11月23日生まれ、山口県出身。

「就任してから足元までの感想は。事業に関しては、もつくりの大変さを痛感

「当社に関しては、社員がまじめで、技術力もあるの、とても仲が代

改めて認識した。先を見越し受注活動をして山積みの平準化に努めて、外部要因でたやすくその山が崩れる。そして、その建て直しに時間と努力がかかるような局面が何度もあった」

改めて認識した。先を見越し受注活動をして山積みの平準化に努めて、外部要因でたやすくその山が崩れる。そして、その建て直しに時間と努力がかかるような局面が何度もあった」

社員主導型に意識改革

がある一方、社員個々がもっと大きな夢や向上心を持ち、会社も社会にもっとアピールしていけば、さらに良い組織になると思った」

「初期に発表した目標数字は売上高が265億円、営業利益が13億600万円、経常利益が16億00万円、純利益が11億円で、半期実績は売上高が138億9500万円、営業利益が8億3300万円、経常利益が10億900万円、純利益が7億600万円と、前半は好調に推移した。だが、足元や工程遅延が目立ってきた

「本期の業績見通しについては。」「最初に発表した目標数字は売上高が265億円、営業利益が13億600万円、経常利益が16億00万円、純利益が11億円で、半期実績は売上高が138億9500万円、営業利益が8億3300万円、経常利益が10億900万円、純利益が7億600万円と、前半は好調に推移した。だが、足元や工程遅延が目立ってきた

「本期の業績見通しについては。」「最初に発表した目標数字は売上高が265億円、営業利益が13億600万円、経常利益が16億00万円、純利益が11億円で、半期実績は売上高が138億9500万円、営業利益が8億3300万円、経常利益が10億900万円、純利益が7億600万円と、前半は好調に推移した。だが、足元や工程遅延が目立ってきた

「本期の業績見通しについては。」「最初に発表した目標数字は売上高が265億円、営業利益が13億600万円、経常利益が16億00万円、純利益が11億円で、半期実績は売上高が138億9500万円、営業利益が8億3300万円、経常利益が10億900万円、純利益が7億600万円と、前半は好調に推移した。だが、足元や工程遅延が目立ってきた

「本期の業績見通しについては。」「最初に発表した目標数字は売上高が265億円、営業利益が13億600万円、経常利益が16億00万円、純利益が11億円で、半期実績は売上高が138億9500万円、営業利益が8億3300万円、経常利益が10億900万円、純利益が7億600万円と、前半は好調に推移した。だが、足元や工程遅延が目立ってきた

「本期の業績見通しについては。」「最初に発表した目標数字は売上高が265億円、営業利益が13億600万円、経常利益が16億00万円、純利益が11億円で、半期実績は売上高が138億9500万円、営業利益が8億3300万円、経常利益が10億900万円、純利益が7億600万円と、前半は好調に推移した。だが、足元や工程遅延が目立ってきた

「本期の業績見通しについては。」「最初に発表した目標数字は売上高が265億円、営業利益が13億600万円、経常利益が16億00万円、純利益が11億円で、半期実績は売上高が138億9500万円、営業利益が8億3300万円、経常利益が10億900万円、純利益が7億600万円と、前半は好調に推移した。だが、足元や工程遅延が目立ってきた

「本期の業績見通しについては。」「最初に発表した目標数字は売上高が265億円、営業利益が13億600万円、経常利益が16億00万円、純利益が11億円で、半期実績は売上高が138億9500万円、営業利益が8億3300万円、経常利益が10億900万円、純利益が7億600万円と、前半は好調に推移した。だが、足元や工程遅延が目立ってきた

「本期の業績見通しについては。」「最初に発表した目標数字は売上高が265億円、営業利益が13億600万円、経常利益が16億00万円、純利益が11億円で、半期実績は売上高が138億9500万円、営業利益が8億3300万円、経常利益が10億900万円、純利益が7億600万円と、前半は好調に推移した。だが、足元や工程遅延が目立ってきた

「本期の業績見通しについては。」「最初に発表した目標数字は売上高が265億円、営業利益が13億600万円、経常利益が16億00万円、純利益が11億円で、半期実績は売上高が138億9500万円、営業利益が8億3300万円、経常利益が10億900万円、純利益が7億600万円と、前半は好調に推移した。だが、足元や工程遅延が目立ってきた

「本期の業績見通しについては。」「最初に発表した目標数字は売上高が265億円、営業利益が13億600万円、経常利益が16億00万円、純利益が11億円で、半期実績は売上高が138億9500万円、営業利益が8億3300万円、経常利益が10億900万円、純利益が7億600万円と、前半は好調に推移した。だが、足元や工程遅延が目立ってきた

「本期の業績見通しについては。」「最初に発表した目標数字は売上高が265億円、営業利益が13億600万円、経常利益が16億00万円、純利益が11億円で、半期実績は売上高が138億9500万円、営業利益が8億3300万円、経常利益が10億900万円、純利益が7億600万円と、前半は好調に推移した。だが、足元や工程遅延が目立ってきた

「本期の業績見通しについては。」「最初に発表した目標数字は売上高が265億円、営業利益が13億600万円、経常利益が16億00万円、純利益が11億円で、半期実績は売上高が138億9500万円、営業利益が8億3300万円、経常利益が10億900万円、純利益が7億600万円と、前半は好調に推移した。だが、足元や工程遅延が目立ってきた

「本期の業績見通しについては。」「最初に発表した目標数字は売上高が265億円、営業利益が13億600万円、経常利益が16億00万円、純利益が11億円で、半期実績は売上高が138億9500万円、営業利益が8億3300万円、経常利益が10億900万円、純利益が7億600万円と、前半は好調に推移した。だが、足元や工程遅延が目立ってきた

「本期の業績見通しについては。」「最初に発表した目標数字は売上高が265億円、営業利益が13億600万円、経常利益が16億00万円、純利益が11億円で、半期実績は売上高が138億9500万円、営業利益が8億3300万円、経常利益が10億900万円、純利益が7億600万円と、前半は好調に推移した。だが、足元や工程遅延が目立ってきた

「本期の業績見通しについては。」「最初に発表した目標数字は売上高が265億円、営業利益が13億600万円、経常利益が16億00万円、純利益が11億円で、半期実績は売上高が138億9500万円、営業利益が8億3300万円、経常利益が10億900万円、純利益が7億600万円と、前半は好調に推移した。だが、足元や工程遅延が目立ってきた